

乗雲

寺報

第134号

R8/8/1 発行

1985/4 創刊

〒959-2646 新潟県
胎内市西栄町 2-8
TEL 0254-43-2419
FAX 0254-43-4560
編集人 広厳寺
住職 神田英俊

メール
otera@kogonji.jp

海中に竜門と云う処あり。浪頻りに作なり。諸の魚、波の処を過ぐれば必ず竜と成るなり。故に竜門と云うなり。(中略) 衲子の儀式も是れをもて知るべし。処も他所に似たれども、叢林に入れば必ず仏となり祖となるなり。(中略) ただ叢林に入ると入らざるとなり。竜門を過ぐると過ぎざるとなり。

正法眼蔵随聞記

道元さまが弟子たちに話された。「海中に竜門というところがある。波もしきりに立っている。どんな魚でも、この波を過ぎれば必ず竜となる。ゆえに竜門と言う。禅僧の儀式もしっかり、場所も他所と同じであるが、ひとたび修行道場の門に入れば必ず仏となり祖となる。ただ出家して修行の場に入らなければいけないことなり。海中の魚が竜門を過ぎるか過ぎないかだけである。」

昭和五十年、駒澤大学仏教学部卒業と同時に大本山永平寺での修行が始まりました。学生時代はアパートで自由気ままに暮らし、お経の一



昭和50年永平寺修行

つも知らない、法衣もまともに着れない、法要の所作も全く分からないものが、古参(先輩)の修行者に厳しい指導を受けながら何とか一年、更に一年、そうこうしているうちに

五年半の修行となりました。昭和五十五年の二祖孤雲懷奘禪師七百回大遠忌法要を終えて秋に下山しました。あれから五十年、令和十二年には二祖様七百五十回忌を迎える。

叢林とは樹木が叢がっている林のことで修行道場を指している。髪を剃り、袈裟を着け、志を同じくする修行者とともに、道場の規則に従い、互いに切磋琢磨しながら仏道に励めば自ずとよき僧侶となる。

また、道元禪師は、「霧の中を行けば覚えざるに衣しめる。よき人に近づけば覚えざるによき人となるなり」と同じ随聞記の中に示されている。何も叢林での修行に限らないが、人は置かれてある環境によって知らないうちに影響を受ける。まわりの言葉や態度に、「覚えざるに衣しめる」、知らず知らずのうちに感化されていく。よき人、よき言葉、よき行い、よき縁にふれることによつて、「よき人となる」。

現代社会はいろいろな情報で溢れている。よい環境の中、何が正しいことか、よいことか、しっかり見極めながら、我々大人は範となる生き方をしなければならない。

令和八年 年回忌表

〔回忌〕	〔没年〕
一周忌	令和七年
三回忌	令和六年
七回忌	令和二年
十三回忌	平成二十六年
十七回忌	平成二十二年
二十三回忌	平成十六年
二十七回忌	平成十二年
三十三回忌	平成六年
五十回忌	昭和五十二年
百回忌	昭和二年

▼令和八年度(2026)の年回忌表です。

当寺では個人情報保護の観点から本堂には張り出ししていません。年忌に当たられている各家には昨年十一月中旬に通知していますのでご確認ください。▼日曜・祝日のご法事の申し込みはお早めにお問い合わせいたします。▼「周」は「めぐる」ことを意味する言葉で、亡くなつてからちようど一めぐりした翌年のその日を一周忌と呼ぶ。回忌とは亡くなられた日を最初の忌日と考え、三回目の忌日が「三回忌」となる。以降は九六年目が七回忌、九十二年目が十三回忌となる。



授戒会祝賀会ご挨拶

前永平寺貫首・南澤道人猊下
ご遷化
令和八年五月二十九日
世寿 百歳

南澤猊下には平成十二年、(当時永平寺監院職)私の晋山結制式(住職就任披露)の一番重要な西堂の役をお務めいただき、また、平成二十五年に行われた当寺授戒会には戒師(当時副貫首)として五日間にわたり、戒弟七十名にご教導いただきました。なお、ご本葬の儀は大本山永平寺にて九月十一日に挙行される。



授戒会初日、住職、弟子三人、寺族ご挨拶

在りし日の南澤禪師様
平成二十五年授戒会

□研修旅行終了

五月二十、二十一日(二泊二日)の飛騨高山・千光寺参拝と円空仏資料館拝観・飛騨合掌造り、高山散策・下呂温泉の旅は十五名の檀信徒の方にご参加いただき無事終了しました。物価高で旅費も高騰しておりますが、年に一度のお寺の親睦を兼ねた研修旅行です。何方もご参加いただければ幸いです。



中野睦宗老師

徒皆様の家内安全諸願成就祈禱及び先祖代々の供養法要ですのでぜひご参加ください。

□大般若会終了

六月十日午前十時より大般若会を厳修。ご寺院二十五名。大般若転読法要、檀信徒供養法要、法話後、昼食お持ち帰りにて無事終了しました。参詣者は五十名。なお、今年度のご法話は新潟市田家・久昌寺住職中野睦宗老師にお務めいただきました。年々参詣者が少なくなっています。檀信

曹洞宗新潟県第四宗務所
テレホン (WEB) 法話
和尚さんの言の葉



* 曹洞宗「心の電話」
TEL 0120-508-740
携帯電話 03-3454-5410

* 永平寺電話説法
TEL 0776-63-3399

* スマホ、パソコン、タブレットの Spotify アプリでも法話を聴くことができます。

曹洞宗関連のお話が
沢山あります。



* 詳細は ↓



子ども禅のつどい開催案内
期日 九月十二日(土)
会場 広嚴寺
対象 小学生三十名
受付 午前八時三十分
終了 午後三時
内容 坐禅、読経、灯籠作り

秋の仏教講演会

期 日 十月六日(火)

時 間 午後一時半～三時

会 場 広厳寺

参加費 五百円

講 師 千葉公慈 先生

演 題

仏教のいま、これから

「生きる力に目覚めるために」

主催 胎内市曹洞宗寺院護持会
共催 胎内市仏教会

*プロフィール

昭和三十九年(1964)千葉県市原市生まれ、同市宝林寺住職、東北福祉大学学長、専門はインド仏教教理学、日本文化論。講演依頼多数。

・詳細はQRコードから↓



◆寺院葬◆

乗雲閣(位牌堂)ホールで
通夜・葬儀ができます。



▼コロナ感染症以後、葬儀の形態が変わりました。家族や近親者のみの小規模葬が一般的となり、葬儀社会館での葬儀も少人数で執行されています。当寺位牌堂ホールでの通夜、葬儀は控え室もあり、万一の場合には控え室に搬送しお寺から出棺も可能です。ご利用ください。

■訃報 徳岩寺三十三世遷化

令和八年六月十五日、胎内市羽黒、徳岩寺三十三世住職・淡雪勝也大和尚(市村勝也師)遷化。世寿八十四歳。七月二十六日速夜、二十七日日本葬。乗炬師は本寺・大輪寺住職市村新五師がお務めされた。

境内風景

・五月二五日 シロアリ駆除床下点検 小野工務店

・六月一日 本堂裏消雪バルブ修理 宮嶋工業所

・六月二日～二十八日

涅槃聖苑氏名板工事

無縁墓(慈光塔)工事

会津屋・小野石材

・六月五日～七月三日

中庭、位牌堂前側溝工事 宮嶋工業所

・六月十九日 掲示板修理 放光

・七月一日 墓地除草剤散布 高橋土建

・七月三日・八日 庭樹木剪定 グリーン櫛形

・七月四日 屋根瓦・雨樋修理 中澤瓦工業所

・七月六日 不老閣シロアリ駆除 小野工務店

・七月九日 防火設備立入検査 胎内消防署

・七月三十一日 墓地ゴミ処理 小野工務店

*八月はお盆の月です。遠いご先祖さまを思い、お世話になった亡き人
に供養の誠を捧げましょう。

仏事の知識

命日

命日は亡くなられた「日」のこと
で、月ごとに巡ってくるので年に十
二回ある。これを「月命日」と呼ぶ。
亡くなられた月日は年一回で、「同
じ月・同じ日」が毎年めぐってくる
日のことで「祥月命日」という。年
に一度の特別な命日を指す。

「祥」の字は、めでたい、よい兆し
という意味で使うが、中国では死は
「凶事」であるが、供養を重ねるこ
とによって「吉」に転じていくとさ
れ、「祥」を用いて「祥月・めでたい
月」と表した。(諸説あり)その中国
の習慣が日本にもたらされ、法事の
一周忌や三回忌はそれぞれ「小祥忌
(しょうじょうき)」、「大祥忌(だい
じょうき)」と、「祥」という文字が
含まれている。悲しみの中で、懇ろ
に供養を重ねて行くことで心も落
ち着き整ってくる。

*今までの仏事の知識は当寺ホー
ムページでご覧いただけます。

仏事の知識



□涅槃聖苑（ねはんせいえん）

昨年建立したお墓は、「個人集合型合葬墓」と言い、永代供養を希望する方のお墓です。



この合葬（集合）墓は個別に安置できます。七回忌まで安置しその後合祀供養になります。初めから合祀の場合もあります。

近年は、一、経済的にお墓を維持するのが難しい、二、子どもが地元を離れているのでお墓を建てても継承ができない、三、単身で身寄りがなく後継者がいない、四、相続人が無いため実家の家系が絶えてしまう等の悩みや不安を抱えている人が多くなっています。詳細はお寺へお尋ねください。

□無縁墓（慈光塔）建立

涅槃聖苑脇に無縁仏供養塔を建立いたしました。「無縁仏」とは、供養をしてくれる縁者がいなくなった故人、身寄りがなく吊つてくれる人がいないままの遺骨を言い、自治体などからも身寄りが確認できず、引き取り手のない遺骨を多数預かっていますが、そういった遺骨を納骨し供養するためのお墓です。お墓の名前は慈光（じこう）塔と名付けました。



●本堂、位牌堂お参りにについて

消防署から「火の取り扱い」について、ローソク、線香を灯す際は十分注意するよう指導がありました。お気を付けてお願いいたします。

新発田消防からお願い
ろうそく、線香が起因する火災が発生する時期です。

使用時注意点

- ・火をつけたまま離れない。
- ・しっかり固定して使用。
- ・燃えやすいものを置かない。
- ・衣服への着火に注意。
- ・供物や供花から十分離す。

*火の取扱いには十分注意しましょう。

問合せ先：0254-22-8096（担当：予防課）

《お寺からのお願い》

▼位牌堂の各家位牌壇のローソク、お線香について お寺で用意したミニローソク、お線香をご使用ください。お線香は香炉から灰がこぼれないように真つ直ぐに立て、お参りが済みましたら点したローソクは火災予防の為必ず火を消してください。各家のお仏壇のお線香、ローソク使用の際にもご注意ください。

▼墓地の自然ゴミ（枯れ枝、枯れ草、枯れたお供えのお花等）は、お寺で業者に依頼して処分しますが、それ以外のお花を包んであった紙、ビニール類、お墓掃除のたわし、雑巾、洗剤容器、欠けた茶碗、ペットボトル等は捨てないでください。各自持ち帰って処理してください。

□お盆を迎えるにあたり

この時期、空気が乾燥しており、各所で火災が発生しています。お墓のお参りの際は墓地の枯れ草等乾燥していますので、火の取り扱いに十分注意してください。墓前での迎え火は火災の原因になりますのでお止めください。盆灯籠も点さないようお願いいたします。

寂光塔（永代供養墓地）

一人暮らしの方、お墓継承にお悩みの方、お寺が永代にわたり供養いたします。



寂光塔（永代供養合同墓所）

動物供養塔（ペット墓地）

動物のお骨を埋葬いたします。檀家さん以外でも納骨供養できます。



動物供養塔（ペットのお墓）

